

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（ 東小 ）学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ① 「挨拶」と「落ち着いた生活」に視点を当て、具体的に検討する。
- ② 保護者や地域への広め方や連携について検討する。
- ③ 学校、家庭、地域の代表者として、それぞれの立場を生かしながら、当事者意識を持って話し合いを深める。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・自治会長やPTA会長、放課後児童会指導者、学識経験者など、委員の皆さんが、それぞれの立場からいろいろな意見を出すことで熟議が進み、基本方針に基づいた目指す姿の子供たち育成について熟議を深めることが出来た。
- ・学校の基本方針を受け、特に「かかわる力」について活発に意見交換が行われた。子供の良さや頑張りを家庭や地域、学校で大人が認め、それを共有することで子供たちの意欲や自信につながるという意見が、いろいろな立場の委員からあった。
- ・東小いじめ防止基本方針について、地域や家庭との連携について熟議できた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・本年度の目標である「挨拶」について、子供の挨拶の状況や具体的な方策について熟議を進めた。学校支援コーディネーターから地域住民も参加した挨拶運動が提案され、具体的に検討し実施に結び付けることができた。実施にあたっては、協議会の委員や自治会役員も参画し、より一層活動に理解を深めた。
- ・地域住民と子供たちが、日常的にあいさつを交わせる地域になるよう、活動の継続・発展が望まれる。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・コミュニティスクールだよりの発行や学校ホームページ、さくら連絡網などを通して、熟議の内容を十分発信していると思う。また、校外掲示板にグランドデザイン等を掲示し、地域の人誰でも見ることができるようにしてあるのが良い。
- ・HPへのコミュニティスクール等の掲載方法がPDFだけになっているが、さらに分かりやすい掲載方法を検討できるとよい。
- ・協議結果を受け、学校、PTA、自治会等が協議できるとよい。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

引き続き以下の3点を重点とし、より一層の充実を図る。

- ① 「挨拶」と「落ち着いた生活」に視点を当て、具体的に検討する。
- ② 保護者や地域への広め方や連携について検討する。
- ③ 学校、家庭、地域の代表者として、それぞれの立場を生かしながら、当事者意識を持って話し合いを深める。